

令和7年11月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

令和7年11月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月 日	曜	内 容 等
12月 9日	火	分科会・常任委員会
12月10日	水	分科会・常任委員会
12月11日	木	分科会・常任委員会
12月12日	金	分科会・常任委員会
12月17日	水	委員会（分科会長報告・採決）
12月19日	金	分科会、委員会（分科会長報告・採決）

目 次

(12月17日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	2
採決	4

(12月19日)

1、開催日時・場所	7
2、出席者	7
3、付議事件	8
4、経過	
分科会長報告	8
採決	10
5、審査結果報告書	13

1 2 月 1 7 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

浦 亮治	こども政策局長
宮地 智弘	産業労働部長
石田 智久	産業労働部政策監
吉田 誠	水産部長
渋谷 隆秀	農林部長
山内 洋志	土木部長
中村 泰博	土木部技監
前川 謙介	教育委員会教育長
狩野 博臣	教育政策監
井手美都子	会計管理者
小橋 和則	選挙管理委員会書記長
桑宮 直彦	監査事務局長
小畑 英二	人事委員会事務局長 (労働委員会事務局長併任)
中尾美恵子	議会事務局長
水田 隆三	警務部長

議会事務局職員出席者

濱口 孝	次長兼総務課長
佐藤 隆幸	議事課長
大宮 巖浩	政務調査課長
太田 守人	議事課課長補佐
山口祐一郎	議事課係長
川原 孝行	議事課係長
天雨千代子	会計年度任用職員

6、付議事件の件名

第103号議案

令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)

第104号議案

令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正
予算(第2号)

第105号議案

令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予
算(第1号)

第106号議案

令和7年度長崎県一般会計補正予算(第6号)

第107号議案

令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正
予算(第3号)

第108号議案

令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予
算(第2号)

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時 1分 開会 —

【前田委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、大倉委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより議事に入ります。

まず、今定例会における会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、坂口委員、まきやま委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」ほか5件を議題といたします。

これより、各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

鵜瀬総務分科会長

【鵜瀬総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決

すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

第103号議案のうち関係部分について、総務部関係の「徴税費」に関し、「歳出予算の徴税費が増額となっているが、具体的な内容は。」との質問に対し、「県税過誤納還付金の額が、当初の見込みより増額したためである。県税過誤納還付金の約9割以上が法人県民税及び法人事業税で、法人の申告制度に起因するものであり、確定申告の結果、法人の中間申告の納付額が過大になったため、超過分をお返しするものである。」との答弁がありました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

中村泰輔文教厚生分科会長。

【中村（泰）文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

第103号議案のうち関係部分について「歳入予算」に関し、「使用料及び手数料について、1億4,329万3千円の減額を計上しているが、主な内容と原因は何か。」との質問に対し、「こども医療福祉センターの入院や外来収入の減少によるものである。当初予算の計上にあたっては、

過去5年の実績を基に計上したものの、小児整形患者や手術件数の減少等に伴い、収入減が見込まれることから減額するものである。」との答弁がありました。

これに対し、「年度途中における減額としては多額であり、当初予算との乖離が大きい。今後の当初予算の計上にあたっては、適切な対応をお願いしたい。」との意見がありました。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】次に、観光生活建設分科会長の報告を求めます。

坂口観光生活建設分科会長。

【坂口観光生活建設分科会長】観光生活建設分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」のうち関係部分、ほか5件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第103号議案のうち関係部分について、まず、土木部関係の「国庫補助金の返還」に関し、「発注者である県がしっかりチェックを行ってれば、防ぐことができたものと思われる。このような事案が発生した県側の責任について、どのように考えているのか。」との質問に対し、「発注者として、県の責任も重いものと考えている。今回の事案においては、完成検査をしっかりと行っていなかったこと、日頃から業務の進捗を確認していなかったこと、受注者からの申し出に対して手続きを怠ったことが県側の要因と考えている。」との答弁がありました。

これに関連し、「今後、どのような再発防止策を講じるのか。」との質問に対し、「事務手続きを簡潔に示したフロー図を様々な会議等で繰り返し説明することで、職員の理解促進を図りたい。また、部内で問題をいち早く共有し、議論できる、風通しのいい職場づくりに努めたい。」との答弁がありました。

次に、県民生活環境部関係の「繰越明許費」に関し、「自然公園施設整備費の繰越理由として、入札不調による工期の変更とあるが、入札不調の理由をどのように把握しているのか。」との質問に対し、「指名した10者、全てが辞退されたが、聞き取りを行ったところ、10者ともに職人の不足が主な理由とのことであった。

来年3月頃になると、他の工事の目途が立ち、職人を確保できる可能性があるかと判明したことから、改めて3月からの工事発注を検討しているところである。」との答弁がありました。

以上のほか、観光生活建設関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、観光生活建設分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしく願いいたします。

【前田委員長】次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

清川農水経済分科会長。

【清川農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案は、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】以上で、各分科会長の報告が終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑討論を省略し、直に採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【前田委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第103号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第5号)」について採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

【前田委員長】起立多数。

よって、第103号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

次に、第106号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第6号)」について採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

【前田委員長】起立多数。

よって、第106号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について一括して採決いたします。

各議案は、分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【前田委員長】ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審

査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 午前11時15分 閉会 —

令和7年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第103号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○
	第104号議案	令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第2号）			○	
	第105号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第1号）			○	
	第106号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○
	第107号議案	令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第3号）			○	
	第108号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第2号）			○	

1 2 月 1 9 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

令和7年12月19日

自 午後 2時30分
至 午後 2時43分
於 本 会 議 場

坂口 慎一 〃
清川 久義 〃
鵜瀬 和博 〃
初手 安幸 〃
本多 泰邦 〃
山村 健志 〃
中村 俊介 〃
大倉 聡 〃
まきやま大和 〃
大久保堅太 〃
白川 鮎美 〃
富岡 孝介 〃
湊 亮太 〃
畑島 晃貴 〃
虎島 泰洋 〃
田川 正毅 〃

2、出席委員の氏名

前田 哲也 委 員 長
中村 泰輔 副 委 員 長
田中 愛国 委 員
小林 克敏 〃
中山 功 〃
溝口 芙美雄 〃
徳永 達也 〃
堀江ひとみ 〃
山田 朋子 〃
浅田ますみ 〃
山口 初實 〃
川崎 祥司 〃
中島 浩介 〃
ごうまなみ 〃
松本 洋介 〃
山本 由夫 〃
宅島 寿一 〃
近藤 智昭 〃
坂本 浩 〃
大場 博文 〃
宮本 法広 〃
中村 一三 〃
石本 政弘 〃
堤 典子 〃
饗庭 敦子 〃
山下 博史 〃
千住 良治 〃

3、欠席委員の氏名

な し

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

早稲田智仁 企 画 部 長
中尾 正英 総 務 部 長
今富 洋祐 危 機 管 理 部 長
渡辺 大祐 地 域 振 興 部 長
伊達 良弘 文 化 観 光 国 際 部 長
大安 哲也 県 民 生 活 環 境 部 長
新田 惇一 福 祉 保 健 部 長
浦 亮治 こ ど も 政 策 局 長
宮地 智弘 産 業 労 働 部 長

吉田 誠	水産部長
渋谷 隆秀	農林部長
山内 洋志	土木部長
中村 泰博	土木部技監
前川 謙介	教育委員会教育長

議会事務局職員出席者

中尾美恵子	議会事務局長
濱口 孝	次長兼総務課長
佐藤 隆幸	議事課長
大宮 巖浩	政務調査課長
太田 守人	議事課課長補佐
山口祐一郎	議事課係長
川原 孝行	議事課係長
天雨千代子	会計年度任用職員

6、付議事件の件名

第136号議案

令和7年度長崎県一般会計補正予算(第7号)

第137号議案

令和7年度長崎県営林特別会計補正予算(第1号)

第138号議案

令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算(第3号)

7、審査の経過次のおり

— 午後 2時30分 開会 —

【前田委員長】 ただいまから、予算決算委員会を開きます。

これより議事に入ります。

本日、本委員会に付託されました、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第7号)」

ほか2件を議題といたします。

これより、各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

鵜瀬総務分科会長。

【鵜瀬総務分科会長】 総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第7号)」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

地域振興部関係の「物価高騰に係る交通事業者・貨物運送事業者に対する支援」に関し、「事業者の決算にも関係するため、スケジュールが何よりも大事であるが、補正予算の成立後は、どのようなスケジュールとなっているのか。」との質問に対し、「早期に支援金を届けることが非常に大事であると考えているため、令和8年1月の可能な限り早い時期に申請の受付を開始し、令和7年度内には申請があったすべての事業者に対して交付を完了したいと考えている。」との答弁がありました。

これに対し、「事業者の申請を促して、確実な執行をお願いしたい。」との意見がありました。

以上のほか、総務関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】 次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

中村泰輔文教厚生分科会長。

【中村（泰）文教厚生分科会長】 文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算（第7号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

福祉保健部関係の「介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援」に関し、「支援対象の変更が図られているが、どのような事業所が対象となるのか。」との質問に対し、「これまで処遇改善加算を取得している事業所が対象であったが、今回、それ以外に、訪問看護事業所や訪問リハビリテーション事業所、居宅介護支援事業所が対象となる見込み。詳細は、今後、国から要綱等が示されることになっている。」との答弁がありました。

これに関連し、「従事者の処遇改善に繋げるためには、人件費に充てられることが望ましいと考えるが、使途は、どのように確認するのか。」との質問に対し、「補助金であるため、実績報告書の提出が必要となる。その際に、補助の趣旨に沿った内容であるかしっかりと確認してまいります。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】 次に、観光生活建設分科会長の報告を求めます。

坂口観光生活建設分科会長。

【坂口観光生活建設分科会長】 観光生活建設分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算（第7号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、第136号議案のうち関係部分につきましては、起立採決により、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

その他の議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第136号議案のうち関係部分について、文化観光国際部関係の「酒米価格高騰緊急対策支援事業」に関し、「緊急対策であることから、補正予算の成立後、速やかに酒蔵へ支援金を交付することが必要と考えるが、交付に向けた今後のスケジュールはどのように考えているのか。」との質問に対し、「早急に、酒蔵に対して、制度の説明会を実施し、既に購入した分の酒米に係る支援金については、遅くとも本年度内には交付するように考えている。」との答弁がありました。

これに対し、「緊急対策であるということ踏まえて、早急に酒蔵へ支援が届くようお願いしたい。」との意見がありました。

以上のほか、観光生活建設関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、観光生活建設分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】 次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

清川農水経済分科会長。

【清川農水経済分科会長】 農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第7号)」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第136号議案のうち関係部分について、産業労働部関係の「ながさき消費拡大・地元企業応援事業費」に関し、「現在16市町がプレミアム付商品券発行等を実施しているが、今回は、全21市町実施するのか。」との質問に対し、「多くの市町が前向きに検討している。」との答弁がありました。

これに関連し、「県民にはいつ届くのか。」との質問に対し、「各市町において検討中であるが、早いところでは、来年1月から配布できると聞いている。」との答弁がありました。

これに対し、「ぜひ県民に早く行き渡るようにしてほしい。」との意見がありました。

以上のほか、農水経済関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【前田委員長】 以上で、各分科会長の報告が終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑討論を省略し、直ちに採決す

ることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【前田委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第136号議案「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第7号)」について採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

【前田委員長】 起立多数。

よって、第136号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について一括して採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【前田委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

それでは、今任期中の予算決算委員会は、本日が最後になるかと存じますので、閉会にあたりまして一言、ご挨拶を申し上げます。

本年6月に、予算決算委員会の委員長を仰せつかりまして、中村泰輔副委員長をはじめ、委員の皆様方、理事者の皆様方のご協力を賜り、円滑に委員会を運営することができました。

ご承知のとおり、本委員会は、予算議案及び決算認定議案を審査対象に、常任委員会として設置され、予算審査に関しましては、令和7年度当初予算案をはじめ、高校無償化や、医療機関の病床数適正化、医療機関の職場環境・施設整備支援等に係る補正予算案、今定例会において提案された「強い経済」を実現する総合経済対

策等に係る補正予算案など予算議案全般について、活発な論議が展開されました。

一方、決算審査に関しましては、予算が議決の趣旨及び目的に沿って適正かつ効率的に執行されているか検証し、今後の財政運営及び事業実施に当たって改善すべき事項について審査を行い、収入未済の縮減や未利用地の有効活用など、決算全般にわたり熱心な論議が交わされました。

本県は、厳しい財政状況の中、人口減少問題をはじめ、多くの課題を抱えております。

また、長引く物価の高騰は、県民の生活に多大な影響を与えております。

このような状況の中、県民生活を支え、県勢の一層の発展を図っていくためには、行政と議会が一体となって、予算の重点化・効率化を推進しながら、的確な施策を推進していくことが必要であります。

理事者並びに委員の皆様におかれましては、本委員会における論議も踏まえ、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

誠に、ありがとうございました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

— 午後 2時43分 閉会 —

令和7年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第136号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○
	第137号議案	令和7年度長崎県県営林特別会計補正予算（第1号）				○
	第138号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第3号）			○	

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

令和7年12月19日

予算決算委員会委員長 前田 哲也

議長 外間 雅広 様

記

1 議案

番 号	件 名	審査結果
第103号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第5号）	原案可決
第104号議案	令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第105号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
第106号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第6号）	原案可決
第107号議案	令和7年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第108号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
第136号議案	令和7年度長崎県一般会計補正予算（第7号）	原案可決
第137号議案	令和7年度長崎県県営林特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第138号議案	令和7年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決

計 9件（原案可決 9件）

委 員 長 前 田 哲 也

副 委 員 長 中 村 泰 輔

署 名 委 員 坂 口 慎 一

署 名 委 員 まきやま 大 和

書 記 川 原 孝 行